

第2回 晴海西小学校第二校舎建設準備協議会

令和5年10月27日

第2回 晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 議事概要

●開催概要

開催日時 令和5年10月27日（金）18:30～19:30

場 所 晴海中学校 会議室

		区 分	氏 名	出欠
委 員	学 校	月島第三小学校 校長	鈴木 潤	○
		月島第三小学校 副校長	加藤 賢一	欠
		月島第三小学校 副校長	北向 淳子	欠
		月島第三小学校 P T A会長	永久 亮	欠
	町会等関係者	晴海連合町会長 晴海スカイリンクタワー自治会長	滝浪 誠	○
		晴海町会長	三次 二郎	○
		晴海4丁目住宅自治会長	野村 孝保	○
		区立晴海住宅自治会長	太田 忠雄	○
		鯉節センター自治会長	川瀬 賀雄	○
		ザ・晴海レジデンス自治会長	寺東 恒二	欠
		DEUX TOURS自治会長	清水 隆史	○
		晴海テラス自治会長	松谷 稔	○
		勝どき東町会長	加藤 則道	○
		晴海連合町会事務次長	高澤 邦雄	○
		ソフトタウン晴海自治会長		
		晴海地区青少年対策地区委員会会長	渡部 志乃	○
		晴海地区青少年委員	濱多 護	○
		晴海地区青少年委員	宮川 さより	○
	区教育委員会事務局	教育委員会事務局次長	生島 憲	○
		教育委員会事務局庶務課長	俣野 修一	○
		教育委員会事務局学務課長	鷺頭 隆介	○
		教育委員会事務局学校施設課長	岡地 貴志	○
		教育委員会事務局指導室長	小林 傑	○
		企画部副参事（計画・特命担当） 代理 企画部政策企画課 課長補佐	若月 光明	○
		都市整備部地域整備課長	栗村 一彰	○
		都市整備部営繕課長	暮田 富代	○
	案件により 臨時出席	都市整備部長	早川 秀樹	○
総務部防災危機管理課長		菅沼 雅広	-	
総務部地域防災担当課長		小森 昌洋	-	
区民部スポーツ課長		鎌田 智之	-	

傍聴者	なし
-----	----

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 次第</li> <li>・晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 委員一覧</li> <li>・晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 資料1</li> <li>・晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 資料2-1</li> <li>・晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 資料2-2</li> <li>・晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 資料2-3</li> <li>・晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 参考資料1・参考資料2</li> <li>・晴海西小学校第二校舎建設準備協議会 追加資料1・追加資料2</li> </ul>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●協議会の経過等

1. 整備条件の整理

資料に基づき教育委員会事務局学校施設課長が説明

2. 建設コンセプト案について

資料に基づき教育委員会事務局学校施設課長が説明

3. 施設計画の比較検討について

資料に基づき都市整備部営繕課長が説明

4. 改築についての意見交換・質疑

●協議会での主な要望、意見

《建設コンセプトについて》

【発言者】 【発言内容】

委員 今回のコンセプト案策定の背景をうかがいたい。オリンピック選手村など晴海ならではの、地域の特徴は盛り込まないのか。

→事務局 第二校舎においては本区で初めてとなる第1学年から第3学年までの児童に特化した教育環境を整備するところを最も重点的に考えた結果、今回のコンセプト案となりました。また、本校舎では、ビレッジプラザの木材をオブジェに利用するなど、五輪レガシーの存在を児童に感じてもらえるように整備していく予定となっています。

委員 防災拠点倉庫はどこに設けるのか決まっているのか。

→事務局 防災拠点倉庫は1階に1つ、体育館と同じ階に1つ設けることを想定しています。

《施設計画の比較検討について》

【発言者】 【発言内容】

委員 計画にあたっては、実際に子供を通わせる保護者やPTA、見守って下さる青少年地区委員会の方々の意見を聞きながら進めていただきたい。

委員 施設の他用途への転用について、具体的な転用施設は何か。

→事務局 今の時点では児童数の減少する時期が見通せないことから、第二校舎の

建物は当面学校として使用することになります。将来、転用を考えるとなった時に求められるニーズを踏まえて検討することになるため、今の段階では具体的な転用施設を決めておりません。今回の資料では、いずれは学校として使われなくなることを見込み、その時転用のしやすい校舎とはどのようなものであるか、という観点で比較検討を行ったものとなります。

委員 四角い形状の校舎について、縦横どのくらいの大きさになるか。  
→事務局 横の長さが40m～45m、縦の長さが60m～65m程度を想定して案の作成を行いました。

《その他について》

【発言者】 【発言内容】

委員 プレディプラスの部屋は交流ルームとは別の部屋になるのか。  
→事務局 交流ルームとは別の部屋となる一方、多くの児童がプレディプラスを利用することが考えられるため、交流ルームを使用していない時間帯にプレディプラスの場所としても活用できるよう、できるだけ近い位置となるよう想定しています。

委員 本校舎との連携について、仮に第二校舎の児童たちが本校舎に移動するとき、どのようなルートで移動することを想定しているのか。  
→事務局 現時点では校庭側の晴海緑道公園や大通りの歩道の使用を想定していますが、第二校舎が出来上がった時点の街の様子や交通量を見ながら判断していくこととなります。

委員 第二校舎隣地にある倉庫群が今後解体されると思うが、解体にあたり学校の授業に影響はないか。  
→事務局 現在撤去中であるため、開校時には更地になっているものと想定しています。

以上